

## 調査書の記入・作成要領等

### (1) 作成

- ① 中学校長は、志願者の調査書（様式6-1、様式は県教育委員会のホームページから取得）を令和5年12月末日現在で作成する。
- ② 調査書の各欄は、特に指示するもののほかは、「指導要録」に基づいて記入し、作為があってはならない。
- ③ 旧年度卒業生の調査書は、卒業後5年を超える志願者については、学籍の記録を除き記入を不要とする。また、卒業後20年を超える志願者については、調査書に代えて卒業証明書を作成して提出する。

中学校卒業	調査書等の作成について
令和 5年3月卒業	令和5年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和6年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 4年3月卒業	令和4年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和6年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 3年3月卒業	令和3年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和6年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
令和 2年3月卒業	令和2年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和6年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
平成31年3月卒業	平成31年度入学者選抜の様式を用いて作成する。（令和6年度入学者選抜の様式を用いてもよい。）
平成30年3月卒業 ～ 平成16年3月卒業	令和6年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 （学籍の記録のみを記入する。）
平成15年3月卒業 以前	卒業証明書を作成する。

※なお、旧年度卒業生の調査書の「現住所」欄は、志願者が現在居住する住所を記入する。

※該当する年度の調査書の様式が必要な場合、中学校は高校教育課に請求すること。



※県外からの志願者も本県の様式で作成すること。

### (2) 各欄の記入

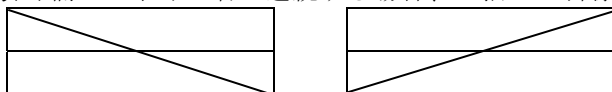
- ① 数字は、原則として算用数字を用いる。
- ② 「性別」欄は、「男」又は「女」を記入する。
- ③ 「略歴」欄は、旧年度卒業生の場合は「見込」を黒の二重線または一本線で削除する。元号も二重線または一本線で削除して書き換える。
- ④ 「卒業後の状況」欄は、中学校卒業後の状況を具体的に記入する。なお、卒業見込の者は斜線とする。
- ⑤ 「海外での教育歴」欄は、海外からの帰国生徒が海外で受けた教育の略歴（国名、期間、期間の長さ）を記入する。海外からの帰国生徒以外は、斜線とする。
- ⑥ 「志願校名」欄の（ ）内については、全日、定時、通信のいずれかの課程名を記入する。ただし、鳴滝高等学校及び佐世保中央高等学校の定時制課程夜間部は「夜間」、昼間部は「昼間」と記入する。
- ⑦ 第1志望の学科・コース、第2志望の学科・コース等の区別があるものについては、その学科・コース名を記入する。その他の場合は、斜線とする。
- ⑧ 「既受検校名」欄は、2月1日（木）に実施する長崎県公立高等学校の前期選抜又は離島留学特別選抜のいずれかを志願した場合（志願して受検しなかった場合も含む）のみ、その受検校名を記入する。その他の場合は、斜線とする。また、定時制課程Ⅱ期選抜、もしくは、通信制課程を志願する者で、既に公立高等学校を受検した場合、その受検校名を記入する。なお、その場合においても当該欄を除き、記載内容は令和5年12月末日現在でよい。

- ⑨ 「出欠の記録」欄の「欠席の主な理由」は、欠席の主な理由がある者について、その理由（病名、事故の種類等）を記入する。ただし、欠席日数が学年ごとに合計10日以上ある者については必ず記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑩ 「行動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。
- ⑪ 「特別活動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。
- ⑫ 「健康の状況」欄は、就学及び受検上配慮すべき事項がある場合、その事項について具体的に記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑬ 「総合的な学習の時間の記録」欄は、第1学年、第2学年及び第3学年における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。ただし、第3学年については、令和5年12月末日までの内容と評価を記入する。
- ⑭ 「総合所見及び参考となる諸事項」欄は、各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動等の諸事項及び生徒の成長の状況にかかわる総合的な所見等を記入する。
- ⑮ 「各教科の記録」欄の記入は、次のとおりとする。
- ア 第1学年、第2学年の「観点別学習状況」の評価は、指導要録に記載されたA及びCのみを転記する。
- イ 第3学年の「観点別学習状況」の評価は、令和5年12月末日までの学習状況をもとにA及びCのみを記入する。
- ウ 第1学年、第2学年の評定は、指導要録に記載されたものを転記する。
- エ 第3学年の各教科（「選択教科」を除く）の評定は、令和5年12月末日までの学習状況をもとに5段階評定で記入する。
- オ 「選択教科」欄については、（ ）内に教科名を記入し、評定はA、B、Cを記入する。
- カ 「評定」欄の「計」には、各学年とも「選択教科」を除いた各教科の評定の合計を記入する。
- ※ 一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、評定に（ ）を付けるとともに副申書（様式は任意）を添付すること。また、評価不能の教科については、斜線を引くとともに副申書（様式は任意）を添付すること。いずれの場合も、「評定」欄の「計」には、斜線を引くこととする。
- ⑯ 「記載責任者」は、学級担任とし、「職」については、教諭、講師等の職名を記入する。

（留意事項）

- 「行動の記録」「特別活動の記録」及び「各教科の記録」の各欄を除き、特に指示がない場合、記入事項がない欄は空欄とせず、斜線を引くこととする。
- 斜線は、左上から右下（）、右上から左下（）のどちらでもよい。
- 斜線を引く欄が上下や左右に連続する場合、一括して斜線を引いてよい。

例)



### (3) 提出

- ① 中学校長は、志願者の調査書を入学願書等と併せて志願先高等学校長に提出する。
- ② 調査書は、県教育委員会のホームページから取得した用紙（様式6-1）に記入したもの、又はそれを複写（コピー）したものに押印して提出する。